



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER

Dojima Grand Bldg., 1-5-17

Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN

PHONE (06)344-1717

JANUARY, 1988 V-7



1987 ~ 1988 THEME

IP	互いに助けあおう	SUPPORT ONE ANOTHER
RD	青年と共に働くワイズ	HAND IN HAND WITH YOUTH
DG	新しい出発にむかって	TAKE PART IN A NEW START!
CP	味わおう、みんなで働く喜びを!	ENJOY WORKING TOGETHER!

EMPHASIS THIS MONTH: JAPAN・ワイズスピリットの月...ワイズの原点を確認し、基本を体質化しよう



この1年元気で行こう!

Statistics (統計)

会 員 数	35名			
第1例会会員出席者	23名	B F	切手	現金
第2例会会員出席者	名	12月	3,200pt	3,890pt
出 席 率	65.7%	累計	19,200pt	78,890pt
ゲスト&ビジター	5名	EMCファンド12月累計		
メ ネ ッ ト	6名			365,767円
コ メ ッ ト	3名			

1月例会当番 ワイズスピリットの月

第4班：山田、上月、田中、掛江、杉浦の皆さん

第1例会：1988年1月20日（水）PM 6:30~8:30

場所：大阪 YMCA 国際・社会奉仕センター（堂島）

第2例会：1月27日（水）PM 6:30~8:30

場所：同上

・12月の切手提供者—鈴木、掛江、堀、杉本、田中、多田、
 上月、黒田、山田、正司、杉浦の皆さん

1月第1例会プログラム
 今月のテーマ：ワイズスピリット

日時 1988年1月20日(水) PM6:30~8:30
 場所 大阪 YMCA 国際・社会奉仕センター

- | | | |
|-------------------------|----|-------|
| | 司会 | 上月君 |
| 1. 開会 | | 会長 |
| 2. ワイズソング | | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | | 山田君 |
| 4. ゲスト紹介 | | 会長 |
| 5. 日々の糧 | | |
| 6. 晩さん | | |
| 7. お話「最近の医療事情」 | | 中村隆幸君 |
| 8. ワイズスピリット(今月の強調テーマ) | | |
| 9. お誕生日祝い | | |
| 10. ニコニコ献金 | | ドライバー |
| 11. 役員会、委員会報告、YMCA ニュース | | |
| 12. 閉会 | | 会長 |

例会当番(第4班:山田、上月、田中、掛江、杉浦の皆さん)準備、後片付け等ご協力お願いします。

プログラム委員会からご案内

★2月はTOFの月。例会(2月17日)は、紅茶を飲みながら「スリランカと紅茶の話」を聞く予定です。乞うご期待!

HAPPY BIRTHDAY

掛江 康一君	1. 1	中村 幸枝メネット	1. 1
真嶋 直子メネット	1. 3	松本 常晃君	1. 6
福永 嘉彦君	1. 9	有公子メネット	1. 15
湯浅 かずメネット	1. 26	三浦 直之君	1. 27

12月第1例会—X' Mas Family Party—報告
 まだ見ぬサンタサマへ

拝啓

まだ見ぬサンタサマ、我がセンチニアル ワイズメンズクラブは、1987年12月16日(水)18:30より、大阪クリスチャンセンターにて一足先にクリスマス例会を盛大に取り行いました。

この日は、あなた、サンタサマがトナカイに乗って来るにはちょっとむずかしいほどの良い天気でした。

当日、谷川メネットのすばらしいオルガン演奏にて厳肅にキャンドルサービスを行いました。私、マッチャンは(小学校の頃、となりのミヨちゃんには、マツツンとえらそうに呼びすてにされてました。) あっくん(3才)と共に参加させていただきました。このキャンドルサービスは、歌の際時々、故意か偶然か知らないけれどハモったりして、仲間内であるというひいき目でみなくとも、ナカナカすばらしいものでした。特に山田メンの声はマッチャンの耳に快く響きわたっておりました。

どれほど、このキャンドルサービスが厳肅であったかと申しますと、家では3秒以上、じっとしていられないあのあっくんが、キャンドルを右手にもって10分以上もじっと、直立していたのですから。(その時マッチャンは、あっくんがおしっこをした為に、じっとしているのではないかとヒヤヒヤしておったのです。)

その後、田中メンのお祈り、ゲスト遊上メンのスピーチそして、ドンー鈴木メンのすばらしいスピーチ、カンバイとすめ

会長メッセージ

“日本区ワイズダム60年”

杉本恭之助

新年おめでとうございます。ご家族お揃いでよい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

本年は、1928年日本の地に初めてワイズの種がまかれて丁度60年の記念すべき年に当たります。この大きな節目の年を迎え、日本区理事の掛声により日本中のクラブがワイズダムの価値の再発見を試みようとしています。即ち自ら現状を総点検して一層の活性化を目指し、考え行動する新しい出発の年にせねばなりません。また時あたかも来る7月には京都で、日本では2度目の国際大会が開催されます。日本区内全メンバーの力で何としても是非これを成功させねばなりません。この意味でも大変大事な年を迎えたこととなります。

さて、まず1月は“ワイズ・スピリット”の強調月間になっています。“ワイズ・スピリット”とは、ワイズダムの基本精神であり、国際憲法第2條並びに日本区定款第2條にそれぞれ明記されている通りです。この機会に憲法、定款の全内容についてももう一度読み直して勉強しようではありませんか。さらにまたワイズのそもそもの誕生の経緯やその後の生い立ち、歩みなどについても先輩から聴取するなどを通して、基本になることをしっかり体質化しておく必要があるでしょう。

1月からいよいよ今年度後半に這入る訳ですが、もう一度前半の経過を顧みて、後半展開の糧にしたいと思います。ENJOY WORKING TOGETHERノの実は着実にあがっているのでしょうか? クラブ方針に沿い乍ら、みんなで楽しく目標をクリアーして参りたいと思いますのでこの上共によるしくご協力をお願いいたします。

てまいりました。

さて、今回の参加メンバーが、待ちに待ったクリスマスプレゼント交換です。今回は、かわいい山村コメットのアシストによってビンゴゲームを取り行い、多い人で二つ、少ない人で一つそれぞれプレゼントが手渡されました。

サンタサンにも、マッチャンは、「一つ残しておいてあげよう」と思ったのですが、杉本メンが、新入会員の三浦メンと、湯浅メンに一つずつあげるよう言われましたので、そうしました。なんせ、杉本メンは、我々の仲間が一番偉い人ですので、ごめんね。

日々の生活に追われ、季節の変化も感じる事ができないような、心淋しい日々を過ごしているマッチャンにとっては、久しぶりに心にダンゴいやダンロの火がともったような一夜でした。それと同時にこういう幸せを感じる余裕が与えられない人々が世界にいっぱいいる、という事も思い直し、直接的にもそして、YMCA を通じて、それらの人々に手を差し伸べなければならぬなあとマッチャンは、改めて思いました。

最後になりましたが、このクリスマス例会にご参加いただいたゲストと、お世話していただいたメン、メネットに感謝。そして、みなさん、メリークリスマス!

1987年12月24日

Thought for the Month

When all things began, the Word already was. The word dwelt with God, and what God was, the Word was. The Word, then, was with God at the beginning, and through him all things came to be; no single thing was created without him. All that came to be was alive with his life, and that life was the light of men. The light shines on in the dark, the darkness has never quenched it.

The gospel according to John 1-1-5

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は初めに神と共にあった。すべてのものは、これによってできた。できたもののうち、一つとしてこれによらないものはなかった。この言に命があった。そしてこの命は人の光であった。光はやみの中に輝いている。そして、やみはこれに勝たなかった。

ヨハネによる福音書 第1章 1-5

年頭聖句に思うこと、

新年に当って神と神の子イエス・キリストとの関係をしっかり解っていこう。ヨハネ福音書の冒頭の数句は明白単純に説き明かしているといわれる。言(ことば)とは言語を意味せず、まことか道とも訳されている。表現の真意をたづねるならば、言はキリストと置きかえてみると、聖書が神とキリストとの関係をどう受けとめようとしたかがわかる。キリストは天地創造の前から神と共にあり、天地、人間との関係を考えるとむしろキリストが主役だったとさえ読みとってよいと思われる。命は神の霊ひいてはキリストの霊であろう。それは人に光を与えた。然し人間はこれを理解することが出来なかった。なんという無力極まる人間なのであろう。だが神は終局的には勝利し賜う。忍耐の果てに。なんという恵みであらう。

鈴木 謙介

1月10日(日)

○中西部新年合同例会

2:00~5:00 PM 於:大阪YMCA会館ホール

○京都洛中クラブ チャーターナイト

1月12日(火)

○神戸ワイズメンズクラブの新年例会において、鈴木謙介君が“ワイズメン、古いこと一新しいこと”というテーマでスピーチをします。乞う、参加者。於:神戸YMCA

1月22日(金)~29日(金)

○国際協会ミッド・イヤー・ミーティング

於:ジュネーブ、青木 ICM 出席予定

2月28日(木)

○草津クラブ(京滋部) チャーターナイト

YMCA ニュース

▽素朴で心と自然のぬくもりが残っているニュージーランド!!

Y M C A ニュージーランド生活体験ツアー

時 3月24日(木)~4月5日(火) 13日間

内容 オークランド、クライストチャーチ、ロトルア観光
ホームステイ、Y M C A 会員との交流キャンプ

参加費 365,000 円 ◎1月11日より申込受付

お問合わせ・申込み 大阪YMCA国際・社会奉仕センター

TEL 06-344-1717

▽外国語カルチュアメドレーは好評

国際・社会奉仕センターで、10月より開催されています。

“週末ごとの海外旅行ことばでつなぐ12ヶ国”は定員40名をオーバーしてスタートしています。

1月23日(土)はポルトガル語、30日(土)はドイツ語、そして最終回は、2月6日(土) エスペラント語です。

▽Y M C A 国際・社会奉仕センター速報

職員の岡部さん:

年もおし迫った12月28日、韓国・ソウルで結婚式を挙げました。相手は学生時代、旅行でソウルに行ったとき知りあった日本語の教師(当時学生)をしている李芝愛という女性です。



★楽しかったクリスマス★

IBC WORLD NETWORK

ワイズ・ベル交換 ついに実現

谷川 寛

私たちのブラザー、ハワイのヌアヌ・クラブとワイズメンクラブのベルの交換を提案していましたが、お互いにこの提案に同意しました。その結果、各々現地で調達したベルに相手クラブのメッセージを彫ることに決めました。

この辺の状況を近着のヌアヌ・クラブのブレティンが伝えていますので、御一読下さい。

また、トライアングル・クラブ(大阪センテニアル、ハワイ・ヌアヌ、香港・ボヒニア)の締結調印は今年の夏の京都・国際大会で行うことが決まりました。皆さんで調印式に参加しましょう。

BROTHER CLUB NEWS

Two letters were received from members of the Osaka-Centennial Y's Men's Club. TOSHIMITSU HORI, Past IBC chairman for the club, informed that preliminary plans are being made to provide homestays for Nuuanu club members planning to attend the Kyoto Convention.

KAN TANIKAWA informed that the Osaka club has gone ahead and purchased the Y's Men's bell, and will have it inscribed as follows:

"With much Aloha,
Nuuanu Y's Men's Club
Hawaii
Christmas 1987"

KAN requested that the Nuuanu Club to do likewise and purchase a bell with their inscription to read:

"Nuuanu Y's Men's Club
Hawaii, USA
Best Wishes from
their Brother Club,
Osaka-Centennial
Osaka, Japan
Christmas 1987"

KAN also informed that the formulation of the triangular brother club relationship between Nuuanu, Osaka-Centennial, and the Bauhinia Y's Men's Club could become a reality at the Kyoto Convention. In fact, Ms. PEGGY SHUM, president of the Bauhinia Club, has requested of Kan to write up the agreement.



NUUANU Y'S UP DECEMBER 1987

メネット便り

YMCA 奮戦記

横山 和子

我が家の小学3年生の長男が、YMCAのちびっこ野外クラブに入会して今年で3年目になります。毎月第1日曜日に、かくれ家作りや宝探しなどの定例プログラムがあり、6月と12月には一泊キャンプもあります。7.8人単位に大学生のリーダーが一人ついてくれます。体力的にも大変な仕事で頭が下がります。

入会した年に、不安ながらも慣れてきたころと思い、初めて一人で行かせて大失敗。何度も集合場所を説明してあったのに違うところで待っていて、おかしいと1時間たつて気づいてしょぼく帰って来ました。あわてて車で定例プログラムの行先まで送っていき、どうにか参加することができました。2年目は何もアクシデントはなく過ぎていきました。ただ、毎年11月に学校の行事の生活発表会と定例プログラムとが重なり、年1回だけはお休みをし、皆勤賞の記念品がもらえないままでした。

ところが、同じ学校の人で11月のプログラムの途中から参加した人がいて、記念品をもらったのです。今年3年目はどうしてもその記念品がほしいという長男のひとことからは是非とも11月も出席しようと頑張ることにしました。

今年の学校の生活発表会では運よく出番が1番だったので途中からYMCAに参加できることになりました。出張の多い主人にかわって私が電車やタクシーを乗り継いで裏六甲の船坂谷へ連れて行くことになりました。

念願の記念品がこれでもらえると肩の荷もおろした矢先12月初めに、へんとう線の熱(39.3℃)をだした為、キャンプの一泊は無理とドクターストップがかかりました。せっかく11月も行けたのに、何とか行けるようにとYMCAに1日だけでも参加させて下さいとお願いをしました。朝9時までに来て下さいと言われ、能勢の山奥の青少年野外活動センターまで連れて行くことになりました。例のごとく、主人は留守です。今度は山登りがあるので用心棒に次男をつれていきました。

朝7時30分に家を出て、能勢電車にのって20分、タクシーでセンター前まで25分、そこから宿舎まで徒歩で25分かかり、9時5分前についてセーフノ 帰りはタクシーもないのでバス停のあるところまでハイキングです。1時間かかって次男と歩き、バスにのって30分。能勢電車に乗って家にたどり着いたのは12時でした。何とか今回も切り抜けてきましたが、あと3回プログラムがあります。全部出席できて皆勤賞がもらえたならば、是非とも皆様にお知らせしたいと思っております。

主人はワイズで子どもはYMCAで御世話になり、とても感謝しております。ありがとうございました。

12月 第1例会

—X'mas Family Party—

於・大阪クリスチャンセンター 1987.12.16

出席者

掛江君、川越君、上月君、河野君、黒田君、正司君、杉本君、杉本メネット、
鈴木君、鈴木メネット、多田君、田中君、谷川君、谷川メネット、中川君、
中村君、中村メネット、平田君、平田メネット、藤本君、真嶋君、真嶋メネット、
松本君、村田君、森君、山田君、湯浅君

★ゲスト&ビジター

遊上 義一君(大阪ワイズ)、遊上メネット、中世古 為幹君(大阪ワイズ)、
有本 圭希君(サウスワイズ)、大川 加寿子さん

編集後記

ブリテンについての皆様のご意見、またワイズに関する話題、最近感じている
ことなどをお気軽にお寄せ下さい。

TEL 06-441-0034 FAX 06-445-8871